

## 第6分科会：公共図書館A 事例発表⑦

### 市民と行政サービスをむすぶ

日置市立ふきあげ図書館  
主幹 米森 真琴

#### 1 はじめに

平成17年5月に伊集院町・東市来町・日吉町・吹上町の4町が合併し、日置市としてスタートした。日置市立ふきあげ図書館は合併1年後の平成18年5月11日に開館した。今年で19年目を迎え、来年は20周年と記念の節目になる。

現在のふきあげ図書館蔵書冊数は69,211冊、個人利用者数8,292人、貸出冊数42,938冊（令和7年3月31日現在）である。

今回は、日置市立図書館全館で取り組んでいる行政各課との連携等を紹介する。

#### 2 各課との連携等について

##### (1) 市民福祉部

###### ① 健康保険課

ア 6～8か月児相談でのブックスタート、3歳児健診でのセカンドブックスタート、育児相談等での読み聞かせ、配本

イ 9月の自殺予防週間に関連図書の展示、配布物の設置

###### ② 市民生活課

パートナーシップ宣言に関する本の展示、市の広報チラシ配布

###### ③ 子ども未来課

ア 「子育て支援センター」との連携、読み聞かせ、配本等

イ 「子ども家庭センター」との連携

(ア) 図書館のカレンダーや行事案内を送付

(イ) 「チャイまる通信」を図書館に掲示

###### ④ 介護保険課

ア 包括支援センターとの連携

(ア) 隔月ふきあげ図書館で「認知症カフェ“おじゃったもんせ”」の開催  
・ 場所の提供や読み聞かせ、手遊び、資料提供等

(イ) 「筋ちゃん広場」への出前講座、配本、巡回文庫等

イ 11月30日「人生会議の日」にACP（アドバンス・ケア・プランニング）関連本の展示、配布資料の設置



【ブックスタート】



【筋ちゃん広場】



【ACP展示】



【認知症カフェ“おじゃったもんせ”】

##### (2) 総務企画部

###### ① 総務課（広報戦略係）

ア 広報ひおきに毎月市関係者の「おすすめ本」掲載

連携している課の職員や関係機関先、日置市をホームタウンとして活動しているプロバレーボールチーム「フラーグラッド鹿児島」の選手、市長などに依頼し、市広報誌へのおすすめ本を紹介

## イ 情報発信

- (ア) 職員向け「としょかん通信」毎月発行
- (イ) 戦争に関する図書の展示、戦争に関するブックリストの配布
- (ウ) ホームページの更新、Instagramの活用

## ② 企画課

- ア ゼロカーボン推進系の企画に参加。ミニ図書館ブースを設置し、本の展示、ブックリストの配布、本の貸出し
- イ 国際交流・男女共同参画係と連携。年間展示計画に男女共同参画関連本の展示、チラシ配布

## ③ 地域づくり課

- ア 各地域の公民館に定期的に本の配布、入れ替え。持ってきてほしい本などをインタビュー

## イ 地域通貨「まちのコイン“とっば”」の活用

図書館をスポットに、イベントを考え、コインのやり取りを通して【関係人口】を増やすとともに、各図書館をめぐるってもらう機会として実施

## ④ 商工観光課

ビジネス支援のパスファインダー作成、関連本の展示

## (3) 議会事務局

館内閲覧用として議事録を各館に受け入れ、保存

## (4) 教育委員会

- ① 教育委員会の配布物、郷土資料を受け入れ、保存
- ② 初任校研修や地域体験研修の受入れ
- ③ 教育振興課との連携

吹上地域子ども会活動の発表(年1回)をふきあげ図書館「おはなしのへや」で開催。読み聞かせ、本の展示紹介

- ④ 「教科書センター」の設置
- ⑤ 「ふるさと学寮」での図書配本

## (5) 学校との連携

- ① 「鹿児島県立吹上高等学校」の図書委員会によるおはなし会(年2回)をふきあげ図書館“おはなしのへや”で実施
- ② ボランティア養成講座への参加



【ミニ図書館】



【まちのコイン“とっば”】



【吹上高校図書委員会による読み聞かせ】

## 3 まとめ

各課と連携し、様々な繋がりができ、活動の広がりや深まりが見られるようになってきた。まだ連携の取れていない課や係があり、図書館への理解も不十分なところがある。

図書館には、どの課とも繋がることのできる心強い味方の【図書資料】がある。図書館サービスができることと他課の施策が繋がることで相乗効果が生まれ、図書館が市民により身近に感じていただけるようになるのではないかと考えている。